

北九州空港機能強化・利用促進特別委員会 ご説明資料

STARFLYER

2023年11月 9日
株式会社スターフライヤー

目次

- 1) 中期経営計画と現在の状況について
- 2) コロナ禍における支援への御礼と
今後北九州市様と一緒に取り組みたい事項について

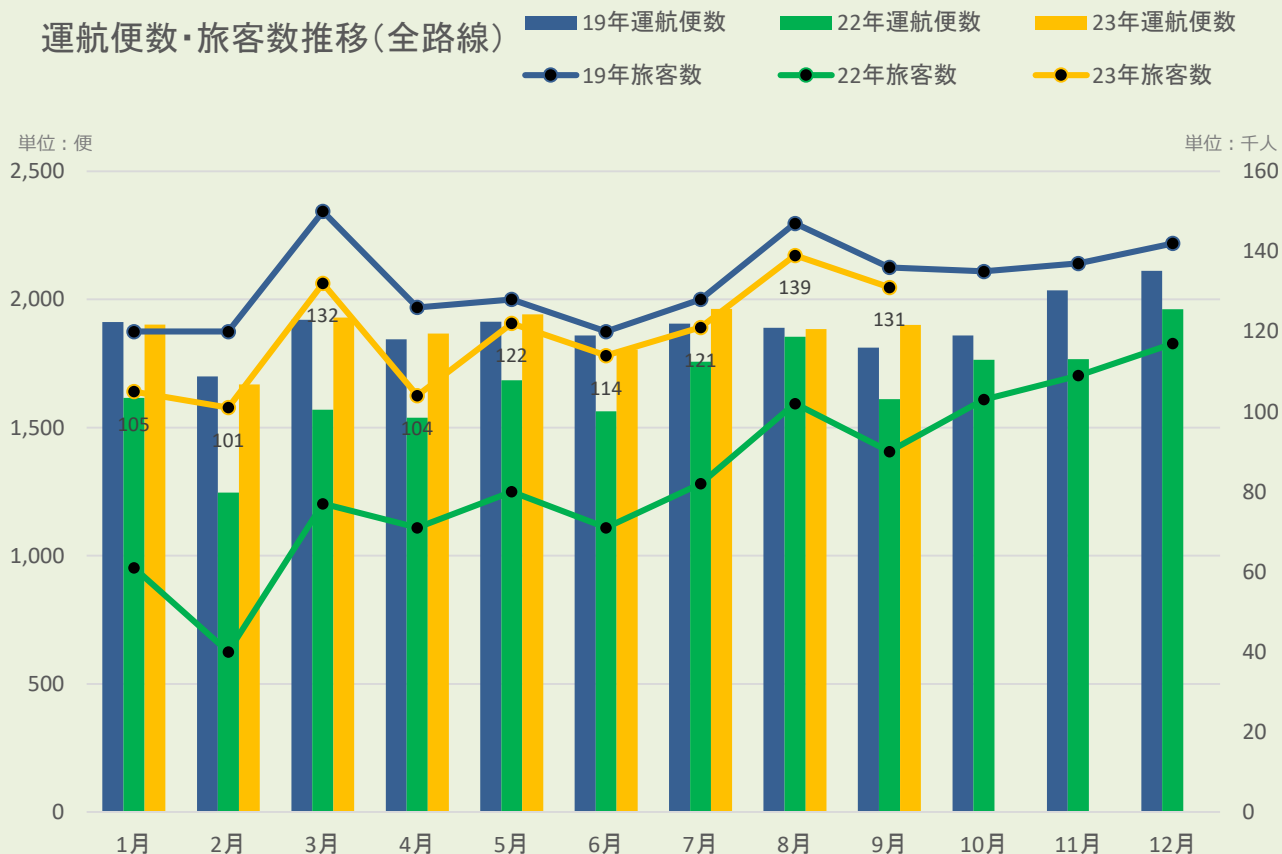
A night sky filled with stars and a prominent meteor streaking across the upper right quadrant. The bottom of the image shows the dark silhouettes of evergreen trees against the starry background.

1) 中期経営計画と現在の状況について

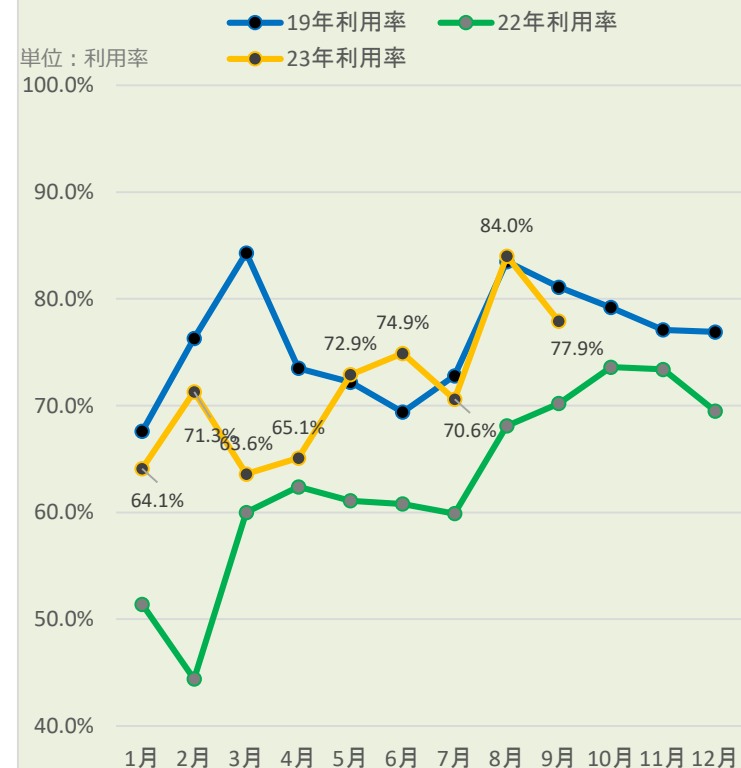
2023年1月～9月の旅客輸送実績（全路線）

- 1月に全便復便を実施し、新型コロナウイルス感染症の分類が5月に変更されたことを背景に、旅行需要やイベントが本格的に再開。
- 5月の大型連休から回復基調に転じ、9月時点では19年比で運航便数は全便復便、利用率は70-80%台まで回復。
- 全路線でリモートワークの普及によりビジネス需要の戻りが鈍く、レジャー需要が利用率の上昇を牽引。

運航便数・旅客数推移（全路線）



利用率推移（全路線）



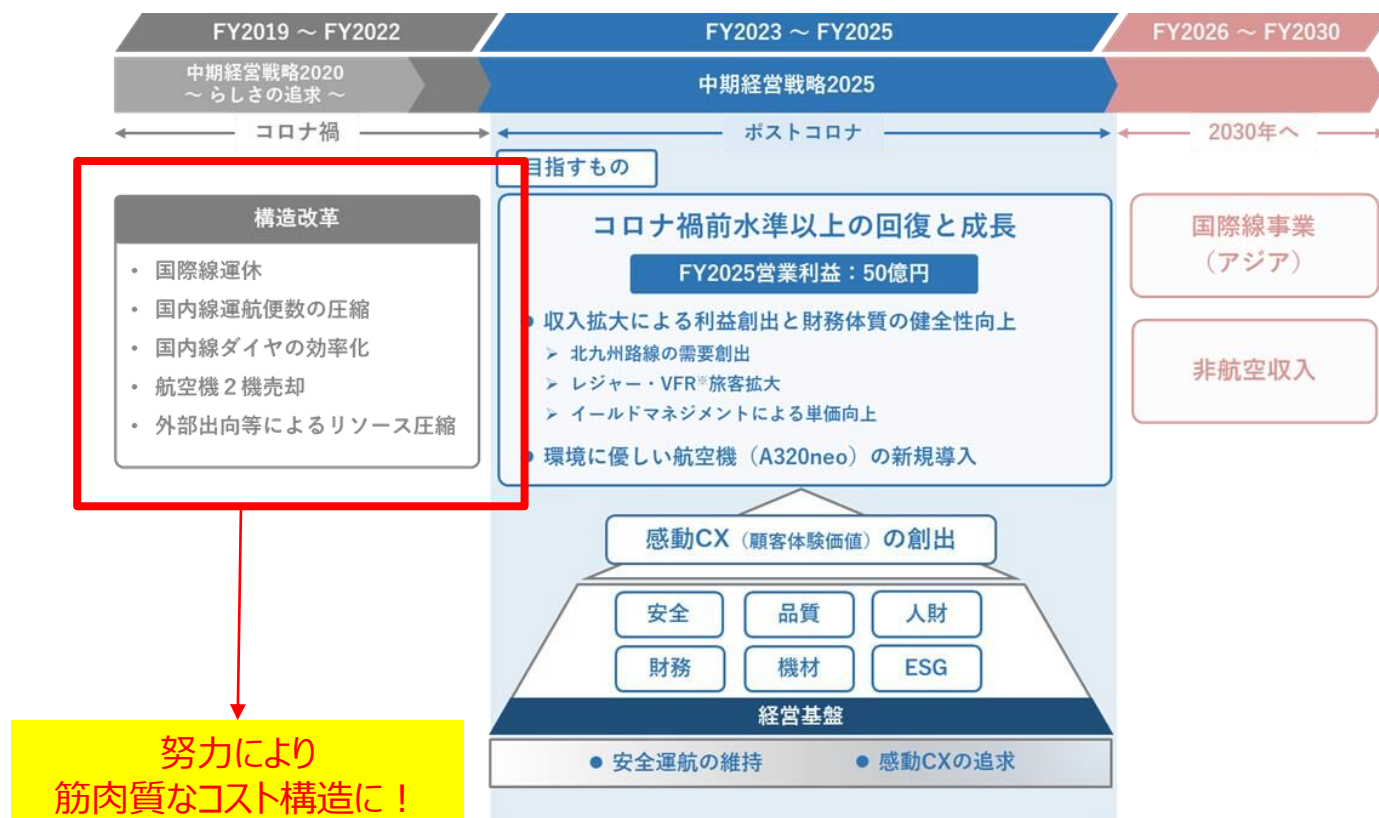
注)運航便数は臨時増便含む。旅客数は自社販売席のみ

今後の取り組みについて(中期経営戦略)

北九州市様をはじめとした皆様のお力添えで、コロナ禍の難局を乗り越え、企業の存続と安全運航を維持。
航空需要が回復傾向にある中、2025年度までの経営目標の達成と次の飛躍へ向け、「中期経営戦略2025」を策定。

【目指すもの「コロナ禍前水準以上の回復と成長」】

- 収入拡大による利益創出と財務体質の健全性向上
- 環境に優しい航空機（A320neo）の新規導入



決算概要（2022年度まで）

- 需要は徐々に回復しており、2022年度下期は営業利益・経常利益・四半期純利益を計上する状態に戻り、業績は改善傾向。
- 売上高はコロナ禍前2018年度の80%程度まで回復。
- 国内移動需要・旅行需要の回復に牽引され、コロナ禍発生以降では最高の売上を達成。

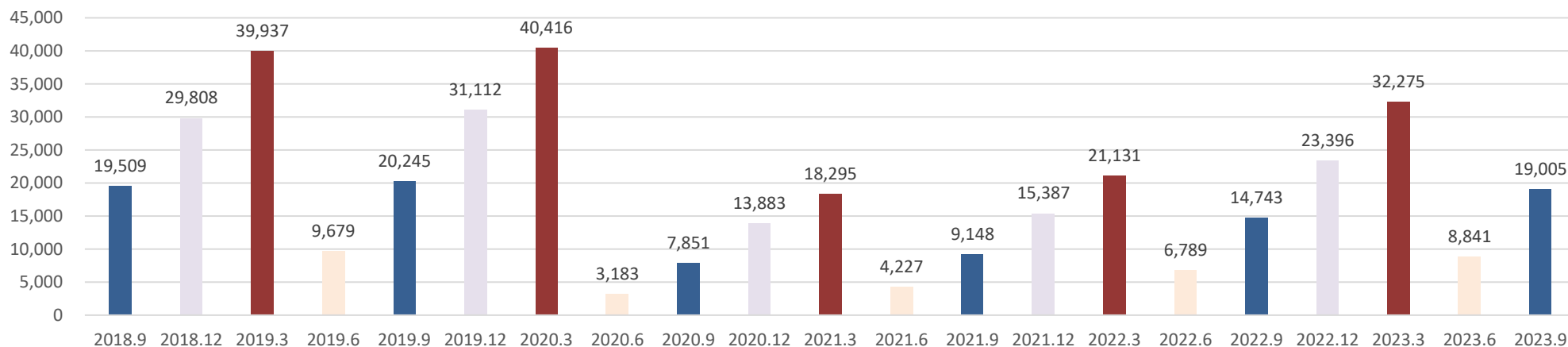
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
売上高	百万円	39,937	40,416	18,295	21,131	32,275
事業費・販管費	百万円	38,673	40,413	29,534	27,596	33,592
営業利益	百万円	1,264	3	▲11,239	▲6,465	▲1,317
当期純利益	百万円	513	▲400	▲10,067	▲4,986	73
期末純資産	百万円	8,537	6,754	6,281	1,357	1,759
ドル為替レート	円	110.5	109.1	106.0	111.6	134.2
ドバイ原油(1バレル)	ドル	69.0	63.1	42.0	74.3	95.2

経営成績推移

- 2023年度の上期決算においては、2019年度並みの好調な売上高で推移。
- 売上については回復しているものの、市況（為替・原油価格）の影響を受けて、営業利益については赤字。

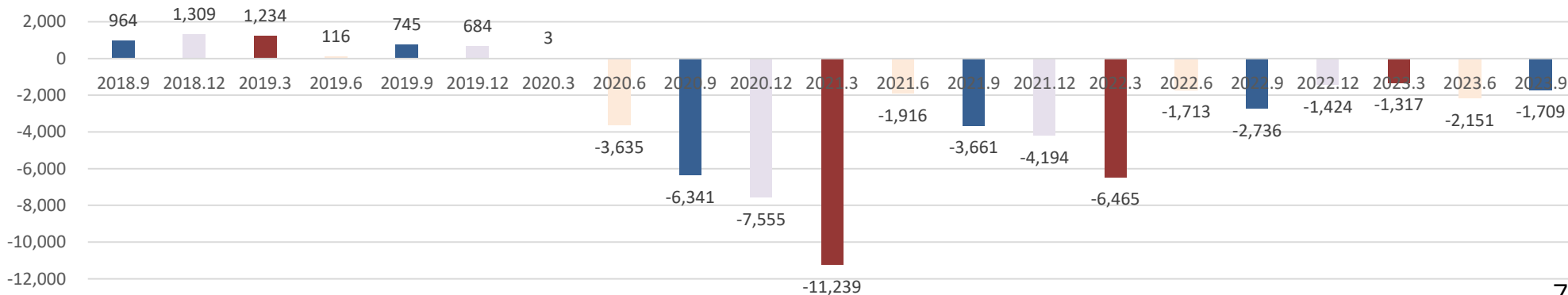
四半期累計 売上高

単位：百万円



四半期累計 営業利益

単位：百万円



2023年度第二四半期決算トピックス

営業収入	190億円	+28.9%	(2022年度第二四半期との比較)
営業利益	-17億円	}	+10億円(2022年度第二四半期との比較)
経常利益	-13億円		
四半期純利益	-12億円		

<コメント>

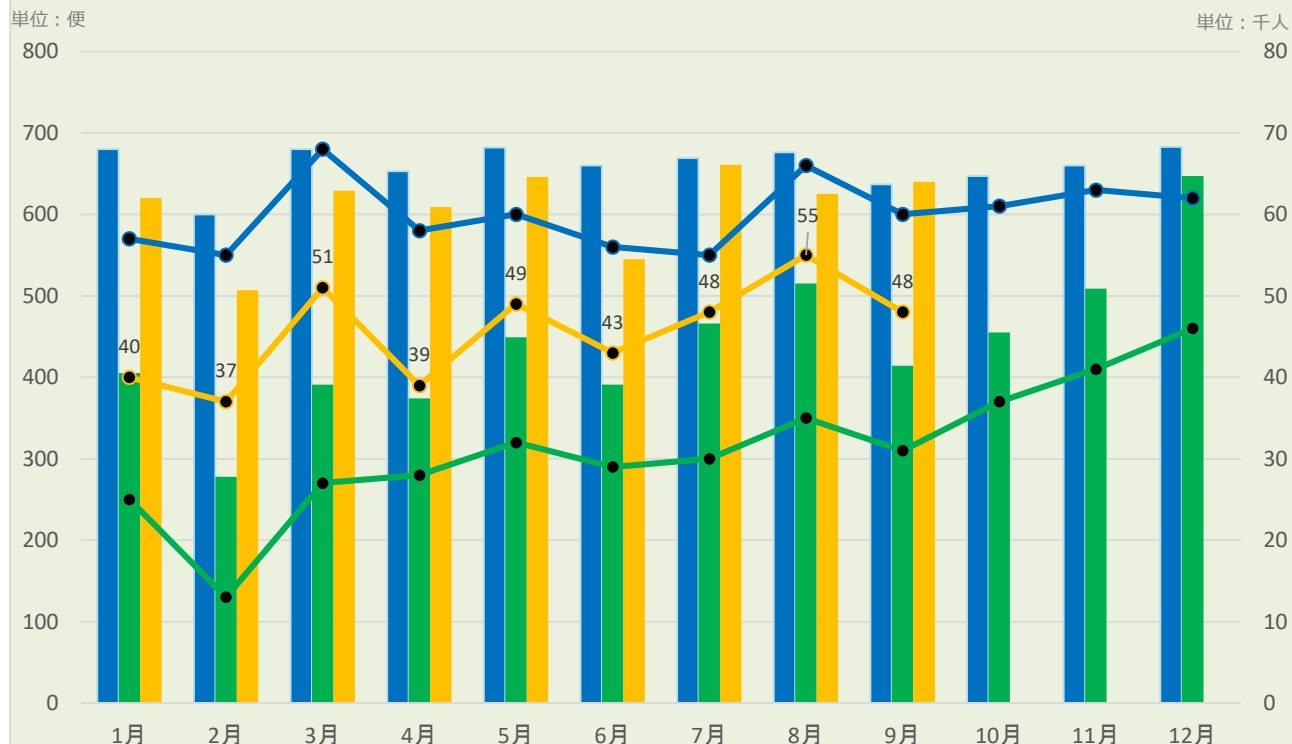
- 営業収入については、過去10年間で、3番目の水準に回復。(コロナ禍前の2019年、2018年に次ぐ実績)
- 期初からの円安進行の影響により、燃油費、航空機材費および整備費等が増加。
なお、当社は相場変動に対するリスク回避を目的としてヘッジを実施しており、費用増加の影響を最小限に抑制。
- 将来の航空機材の定期整備費用に備えるための定期整備引当金は米ドル建てで金額を見積。
なお、今後円高に推移する場合、引当金の取り崩しを行い、為替変動が利益増加に寄与する可能性あり。
- リース満了に伴う機材の返還整備並びに複数台のエンジン整備が集中した影響で、キャッシュ・アウトフロー。
そのため、有利子負債が50億円超となった。

2023年1月～9月の旅客輸送実績（北九州＝羽田線）

- 2022年度冬ダイヤより全便運航を再開。5月以降、緩やかに回復を維持しているが19年の利用率を大きく下回る状況。
- 日中帯のレジャー需要による利用が好調。一方で特にビジネス需要の戻りが鈍い。
- 早朝深夜便を需給に応じた「曜日運航」を実施。北九州＝羽田線において早朝深夜便の利用率改善が課題。

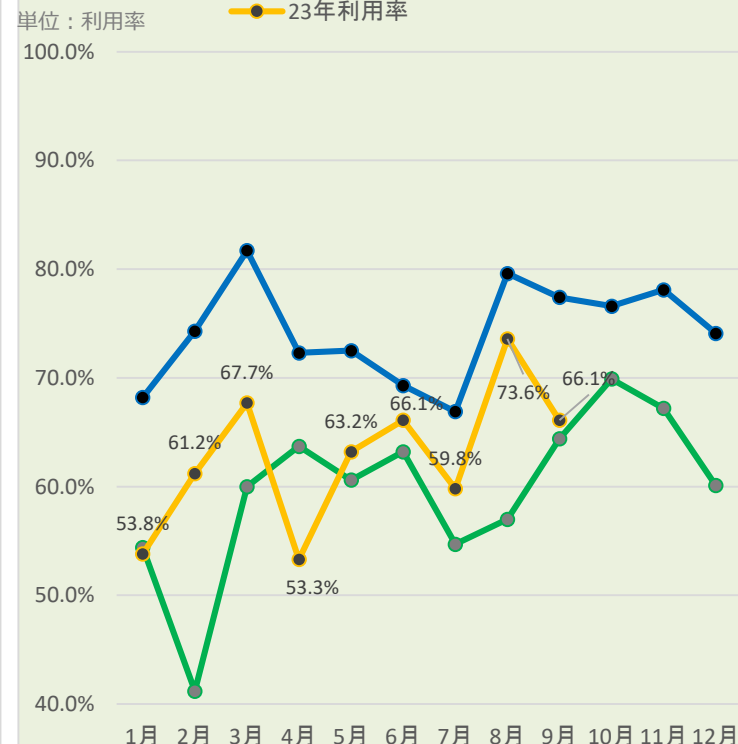
運航便数・旅客数推移（北九州線）

■ 19年運航便数 ■ 22年運航便数 ■ 23年運航便数
● 19年旅客数 ● 22年旅客数 ● 23年旅客数



利用率推移（北九州線）

● 19年利用率 ● 22年利用率
● 23年利用率



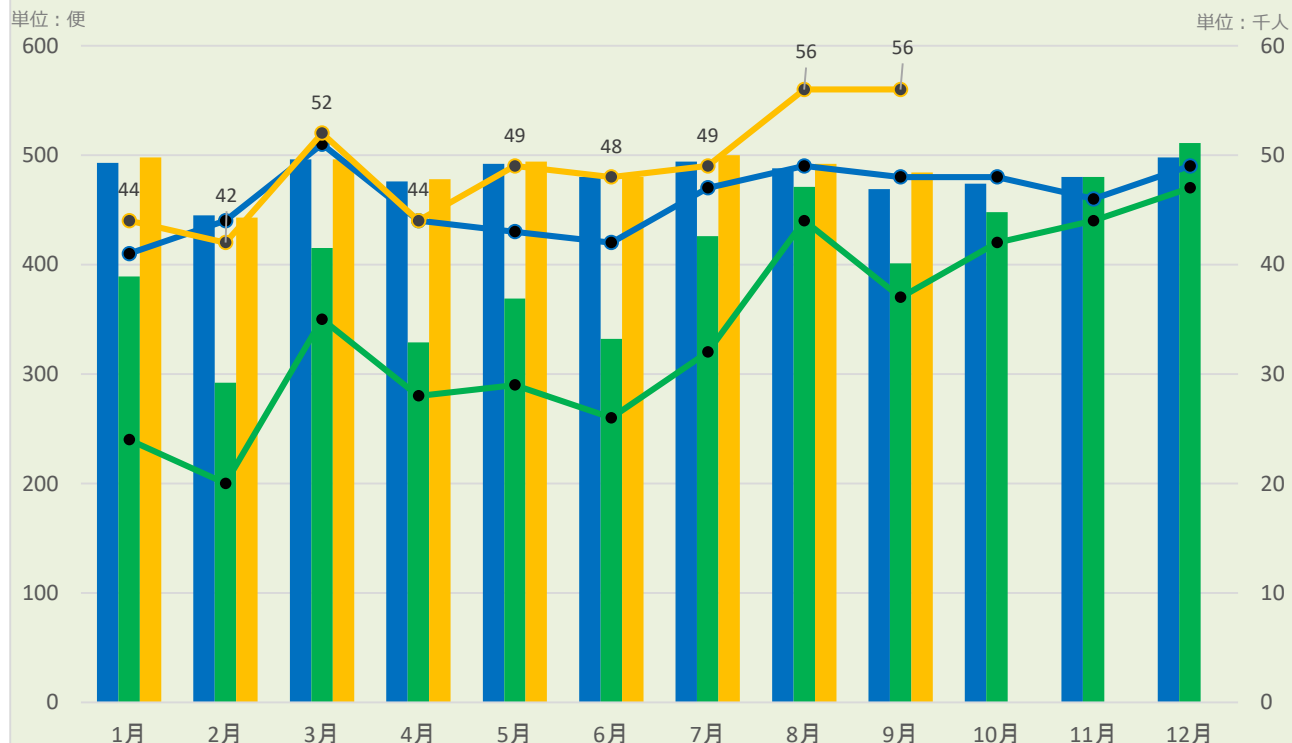
注)運航便数は臨時増便含む。旅客数は自社販売席のみ

2023年1月～9月の旅客輸送実績（福岡＝羽田線）

- ▶ 今年初めからレジャー需要で好調を維持。3月以降は、19年の利用率を上回る状況。
- ▶ 特に8月以降の利用率は95%以上で、週末や連休で満席となる運航便が多数。
- ▶ ビジネス需要の戻りは限定的であるが、福岡市でのビジネスイベント等により今後は回復が見込まれる。

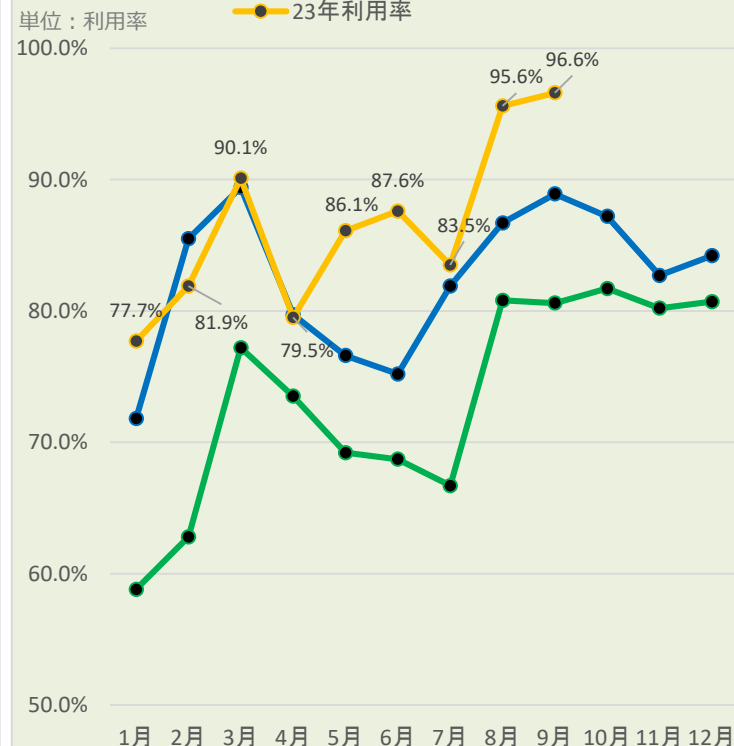
運航便数・旅客数推移（福岡線）

■ 19年運航便数 ■ 22年運航便数 ■ 23年運航便数
● 19年旅客数 ● 22年旅客数 ● 23年旅客数



利用率推移（福岡線）

● 19年利用率 ● 22年利用率
● 23年利用率



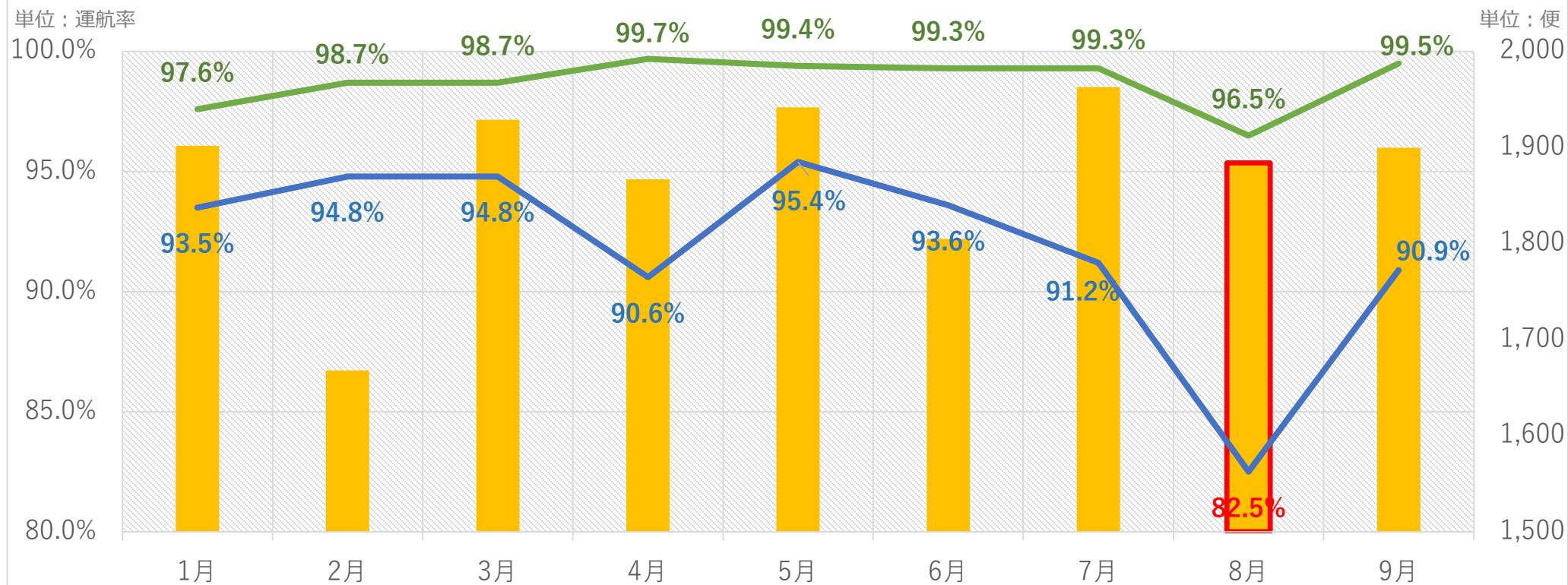
注)運航便数は臨時増便含む。旅客数は自社販売席のみ

2023年1月～9月 全路線の就航率・定時出発率

- 就航率は95%以上で運航。
- 定時出発率は90%台で推移。8月は各社の夏季増便や羽田新飛行ルート、台風等による悪天候の影響で一時的に低下。
- 就航率、定時出発率ともに高い運航品質を維持。

2023年の就航率・定時出発率（全路線）

■ 運航便数 ● 就航率 ● 定時出発率



定時性・顧客満足度に関する評価について

安全運航の継続はもちろんのこと、定時性・顧客満足度の向上に日々努めております。

<定時到着率で世界1位認定によるサービス向上>

2022年1月～12月 定時到着率95.23% **世界1位**
(Cirium社調査 LCC部門※)

2022年定時到着率で世界1位に認定されました。定時到着率とは、航空会社や空港のパフォーマンスに関する世界的基準になるもので、定時運航便は、ゲート到着予定時刻から15分未満に到着する便と定義されています。定時運航を通じてお客様に快適な空の旅をご提供できるよう、さらなる定時性向上に努めてまいります。

※当社はLCCを標榜しておりませんが、単一機種種の運航等で効率的なビジネスモデルを採用している航空会社という広義でのLCCカテゴリーに含まれています。



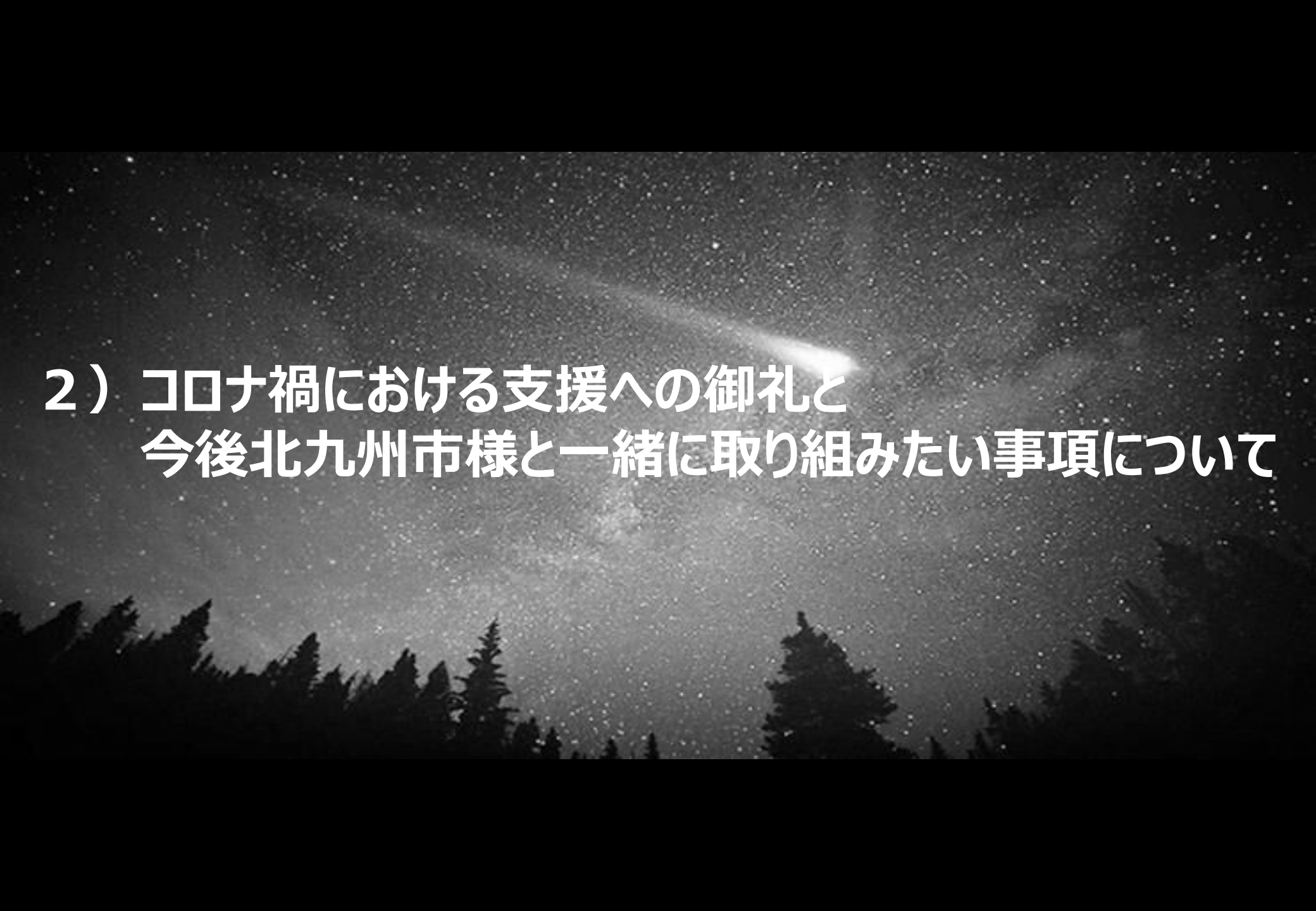
<顧客満足度に関する調査で高い評価>

顧客満足度※1 (JCSI顧客満足度・国内航空部門) ※1 日本版顧客満足度指数

2009～2019年	1位 (11年連続)
2020年	2位
2021年	1位
2022年	2位
2023年	1位

顧客満足度 (J.D. パワー ジャパン 顧客満足度調査・国内航空会社)
2023年 1位 ※第1回目調査で1位を受賞





2) コロナ禍における支援への御礼と
今後北九州市様と一緒に取り組みたい事項について

航空ネットワーク継続支援（2020年度補助金）に対する貴市要請への取り組み

1. 本社機能を本市から転出させないこと。

引き続き、北九州市を拠点として、企業活動を展開して参る所存です。

- 本社部門（経営企画、総務人事、営業本部）および生産3本部（運航、整備、空港客室）は引き続き北九州空港内に設置し、現時点では転出予定はありません。
- トレーニングセンター、格納庫も引き続き北九州空港内に設置し、安全運航のための訓練、整備作業の使用に加え、市民イベントでの施設見学にも提供しています。
- 市内サテライトオフィスを魚町センタービルに設置し、拠点として活用しております。



本社 取締役会・経営会議室



全ての便を北九州で一元管理



格納庫一般開放
(北九州空港「空の日」イベント)

航空ネットワーク継続支援（2020年度補助金）に対する貴市要請への取り組み

2.北九州空港を起点とした航空ネットワークの維持・更なる展開を図ること

国内線は北九州＝羽田線の運航を維持しながら、北九州空港の早朝深夜を中心とした積極的なチャーター便の運航を行う。

- 昨年度末時点で、コロナ禍より実施しておりました、需要減退に伴う減便は終了し、コロナ禍前の運航便数に概ね復便いたしました。一方で需要に応じた曜日運航の設定を行っております。
- 減少したビジネス需要の補完として、自治体様との連携を深めながら、早朝・深夜を中心としたダイヤの見直し、ビジネス需要や新たな運賃施策を含む各種レジャー需要の喚起策に継続的に取り組みます。
- また令和5年度においては、北九州空港を起点とした国際・国内チャーター便の運航を継続的に行うこと、および中期経営戦略にも記載のドミナント戦略の一環として首都圏から北九州への国内インバウンド推進のために二次交通と観光施設と連携した観光MaaSに取り組み、北九州空港ならびに北九州市の更なる発展に努めてまいります。

国内チャーター

- ・ 22年10月に北九州＝福島のチャーターを3往復実施しました。（福島には初就航）
- ・ 福島県から今後も同路線のチャーターを希望されています。
- ・ 交流・流通・地域創生に寄与できるよう、その他路線の国内チャーターも検討します。



国際チャーター

- ・ 23年1月～2月に北九州＝台北線、6往復の早朝深夜チャーターを実施しました。24年2月については日中に4往復での実施を予定しております。
- また、23年度は7月からの務安チャーター運航（次項参照）をはじめ、今後も北九州空港の国際線運航に向け、北九州市のご協力をお願いします。



航空ネットワーク継続支援（2020年度補助金）に対する貴市要請への取り組み

<参考>北九州＝務安国際空港チャーター便の運航について

【運航路線】

北九州空港（KKJ）＝務安国際空港（MWX）

【運航期間】

2023年7月19日～2024年3月30日

（9月1日～9月25日は運航なし）

3泊4日のプログラム（連続）チャーター便

【運航ダイヤ】

◆9611便

北九州空港 23:50発 → 務安国際空港 翌01:00着

◆9612便

務安国際空港 05:00発 → 北九州空港 06:10着

【運航便数】

154便（77往復）

【総販売代理店】

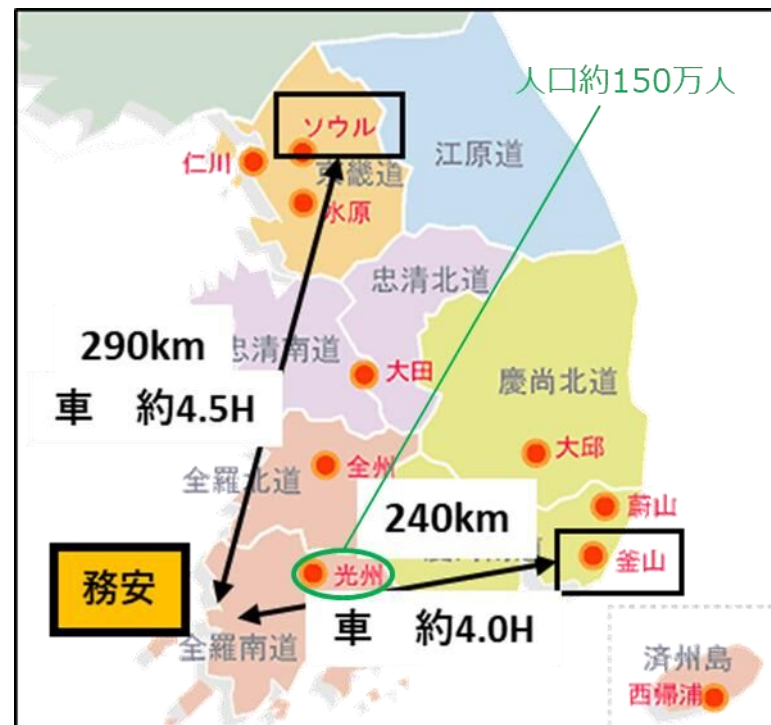
World Wings A&T Co.,Ltd（韓国発）

株式会社セラヴィ（日本発）

【販売開始】

2023年5月中旬～（韓国発）

2023年11月4日出発分～（日本発）



C'EST LA VIE ceauセラヴィ	STARFLYER	北九州空港発着 2023年 11月 → 2024年 3月
STARFLYER スターフライヤーツアー	フリープラン	北九州空港
韓国 5日間	光州	96,000円～109,000円
		燃油サーチャージ込み！ ※航空運賃等が別途必要となります
		AIR + HOTEL + 送迎

※ご要望にお応えして、2023年11月出発分～日本発のご利用にも対応

航空ネットワーク継続支援（2020年度補助金）に対する貴市要請への取り組み

3.北九州空港利用者へのサービス拡充、北九州空港発展のための取り組み

北九州空港ならびに北九州市への観光客誘致に向けた、様々な取り組みを実施。

■ アニメとタイアップした、キャンペーンの展開



■ 北九州市長出演番組の機内放送の実施 (2023年10月 1日～)



■ CAが巡る観光スポットの旅のWEB展開



■ 機内限定JR九州きっぷの取扱

羽田発⇒北九州 / 福岡着
機内限定販売！

JR九州フリーきっぷ 羽田からも——っとお得に！

九州へGo!

九州の旅をもっと楽しく、便利に！

株主企業との取り組みの実施

- ▶ 普通株とB種種類株式の筆頭株主は、ANAホールディングス（株）となっており、共同運航を中心に様々な連携を実施。
- ▶ 2022年8月よりアドバンテッジアドバイザーズ(株)、(株) ジャパネットホールディングスと資本業務提携を結び、機内におけるサービスを共同で展開。
- ▶ その他、地元の企業様より就航以来多大なるご支援を頂いております。

■ 普通株

氏名又は名称	当社への出資状況	
	株式数(株)	議決権数の割合
ANAホールディングス株式会社	514,700	14.685%
株式会社ジャパネットホールディングス	500,000	14.266%
TOTO株式会社	140,000	3.994%
株式会社エアトリ	103,900	2.964%
株式会社安川電機	94,660	2.699%
北九州エアターミナル株式会社	80,000	2.282%
株式会社エアトリインターナショナル	79,500	2.268%
株式会社日本カステディ銀行 (三井住友信託銀行再信託分・九州電力株式会社 及び九州電力送配電株式会社退職給付信託口)	70,000	1.997%
日産自動車株式会社	60,000	1.711%
羽田タートルサービス株式会社	42,680	1.215%

■ 種類株

1. A種種類株式の発行の概要

(1) 払込期日	2021年3月9日(火)	
(2) 発行新株式数	5,500株	
(3) 発行価額	1株につき1,000,000円	
(4) 調達資金の額	5,500,000,000円	
(5) 増加する資本金及び資本準備金	資本金	2,750,000,000円(1株につき、500,000円)
	資本準備金	2,750,000,000円(1株につき、500,000円)
(6) 募集又は割当方法 (割当先)	第三者割当の方法によります。 IXGS ※アドバンテッジアドバイザーズ(株)	5,500株

2. B種種類株式の発行の概要













(1) 払込期日	2021年3月9日(火)	
(2) 発行新株式数	2,500株	
(3) 発行価額	1株につき1,000,000円	
(4) 調達資金の額	2,500,000,000円	
(5) 増加する資本金及び資本準備金	資本金	1,250,000,000円(1株につき、500,000円)
	資本準備金	1,250,000,000円(1株につき、500,000円)

(6) 募集又は割当方法 (割当先)	第三者割当の方法によります。	
	ANAホールディングス株式会社	1,500株
	TOTO株式会社	250株
	株式会社安川電機	250株
	宜本興産株式会社	185株
	株式会社ワールドホールディングス	100株
	第一交通産業株式会社	50株
	株式会社ハローデイ	50株
	株式会社ヤナイ	50株
	西日本鉄道株式会社	30株
	株式会社九電工	10株
	西部瓦斯株式会社	10株
	株式会社サンリブ	10株
シャボン玉石けん株式会社	5株	

株主企業との取り組みの実施

- ▶ 大株主である、(株) ジャパネットホールディングスとは、2023年3月よりサービス開始。
- ▶ 機内誌、機内番組、機内販売についてジャパネットのノウハウを生かして、機内でのサービスを提供。
- ▶ 今後は旅行分野での提携を視野に取り組みを行う予定。

■機内エンターテインメント強化

 <p>9ch ▶ Quiz show</p>	 <p>10ch ▶ Sports</p>	 <p>11ch ▶ Sports</p>	 <p>12ch ▶ Entertainment</p>
 <p>13ch ▶ Entertainment</p>	 <p>14ch ▶ Travel</p>	 <p>15ch ▶ Music</p>	 <p>16ch ▶ Entertainment</p>
 <p>17ch ▶ Entertainment</p>	 <p>18ch ▶ Entertainment</p>	 <p>19ch ▶ Kids' Variety Show</p>	 <p>20ch ▶ Entertainment & Trip</p>

■機内誌刷新



■機内通信販売開始



JamonBehara生ハム (原木)



ベルローズ (チョコレート)
5本セット



富士麦酒醸造所クラフトビール
Clayers[クリエラ]※



ルミエール
石蔵ワイン



アラミック
シルキーナノバブルシャワー
プレミアム



コラントッテ
TAOネックレス AURA
ギャラクシーブラック

今後の取り組みについて（環境に優しい新型機の導入 – A320neo）

- 2023年 7月 4日より運航を開始いたしました。北九州・福岡＝羽田線を中心に運航。
- 環境への影響を軽減させる次世代の航空機であり、2025年度までに4機の導入を計画。



燃料消費量 最大 **20%** 削減
CO₂排出量 大

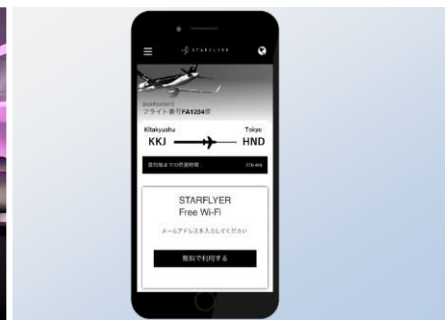
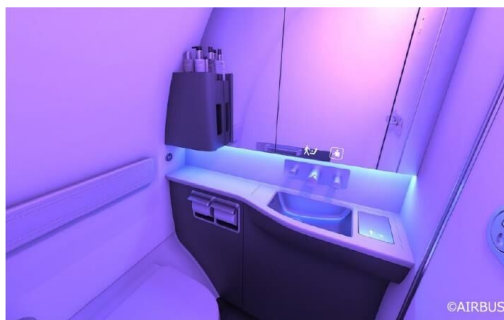
騒音影響 約 **50%** 低減

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



地球環境に優しい最新のエンジン・航空機の導入を推進し、SDGs「13.気候変動に具体的な対策を」の目標に大きく貢献します。

LEAP-1A photos courtesy of CFM International, a 50/50 joint company between GE and Safran Aircraft Engines.



頭上手荷物棚は従来の5個から8個まで**スペース拡大**

化粧室は安心の**抗菌・タッチレス**機能を搭載


新型シートで従来機より**12席増席**でも足もとゆったり

高速Wi-Fiを無料でご提供

エアバス社の最新機内構成「AIRSPACE」を国内で初めてA320型機に導入

今後の取り組みについて（ESG対応）

- 「感動のあるエアライン」としてあり続けるために、環境・社会・ガバナンスの要素を経営戦略の重要な柱に据え、事業を通して様々な社会問題の解決に取り組んでいきます。

カテゴリ	重要課題(マテリアリティ)	主な取り組み														
環境 Environment	<ul style="list-style-type: none"> CO2排出量の削減 環境負荷低減 	<ul style="list-style-type: none"> 環境に優しい航空機(A320neo)の新規導入 燃料消費抑制 SAF※導入へ向けた調査・研究を継続 <p>A320neo型機を2023年初夏より順次導入予定</p>														
社会 Social	<ul style="list-style-type: none"> 地域活性化 社会貢献 	<ul style="list-style-type: none"> 地元企業等とのコラボレーション マイル交換による社会貢献団体への寄付等を検討 地域清掃活動への参加 														
	<ul style="list-style-type: none"> ダイバーシティ & インクルージョン 人権の尊重 	<ul style="list-style-type: none"> 女性の活躍推進 【目標】部長級以上の女性管理職比率 30% (20%) 男性の育児参画 【目標】育児休業取得率 100%(100%) 【目標】育児休業取得平均日数 20日以上(10日) <p>※()内は2022年度実績</p> <p>2022年度男女別の育児休業取得率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">(単位:%)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>男性</th> <th>女性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国総合職</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>客室乗務員職</td> <td>0</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>運航乗務員職</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	(単位:%)				男性	女性	全国総合職	100	100	客室乗務員職	0	100	運航乗務員職	100
(単位:%)																
	男性	女性														
全国総合職	100	100														
客室乗務員職	0	100														
運航乗務員職	100	100														
ガバナンス Governance	<ul style="list-style-type: none"> ガバナンス強化 コンプライアンス強化 	<ul style="list-style-type: none"> 取締役の多様性確保 ハラスメント行為の撲滅 心理的安全性の確保 <ul style="list-style-type: none"> 取締役12名中社外取締役7名(うち女性2名) 「従業員と職場のあるべき姿」の策定 自由に意見を言える風土醸成の継続 														

※ SAF=Sustainable Aviation Fuel

現在および今後必要と考えられる貴市と協力したPR・集客へ向けて

ビジネス需要が主であった北九州＝羽田路線においてはビジネス需要の回復が遅れている。（特に早朝深夜便）
以下の項目についてご支援のご検討をいただきたい。

【需要喚起】

- コンベンション・コンサート・スポーツ試合等の北九州市への積極的な誘致のさらなる強化
- 首都圏から北部九州へのこれまで以上のレジャー需要喚起策へのご支援ご協力
（早朝深夜時間帯利用者増に向けたキャンペーン/助成金の検討）
- ポップカルチャーなど北九州市の新たな賑わい策の創出

【環境整備】

- 航空機の燃費改善、SAF導入検討のみならず、バイオ燃料で走行する空港地上作業車の使用等、SDGs、ESG取組みへの支援
- MaaS*, TaaS*事業への側面的支援

* MaaS = Mobility as a Service

* TaaS = Travel as a Service